

8. 中国（地域別調査機関：公益社団法人中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	スーパー（販売 担当）	来客数の動き	・年末年始の気候が良かったので来客数が多くなっている。
		乗用車販売店 （店長）	販売量の動き	・販売量が前年の105%、年明け最初の土、日、月曜日は受注量が前年の115%で推移している。
(中国)	やや良く なっている	一般小売店〔印 章〕（経営者）	来客数の動き	・1月前半は会社設立の印鑑注文などの動きがあり、客に少しゆとりが出てきている。
		一般小売店〔食 品〕（経営者）	来客数の動き	・11月に改装した影響があるものの、来客数の増加と売上の前年比から見てやや良くなっている。
		百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・前年同月比で売上が80%、来客数が90%となり、やや上向いてきている。前年同月を上回っている店舗も約50%となり、これも上向き傾向となっている。アパレル、雑貨も前年を上回る店舗が出てきており、長い低迷期を抜けて少し明るい傾向が見られる。エステ、まつ毛エクステ、ヘアサロン等のサービス系は変わらず順調である。
		スーパー（店 長）	来客数の動き	・競合する食品スーパーが閉店してから来客数が前年比110%となっており、特にデイリー品、豆腐、牛乳といった商品の動きが良くなっている。他の一般食品と農産品、米などの動きは非常に良くなっている。
		スーパー（店 長）	来客数の動き	・来客数が年末は前年比で100%、売上が104%であったが、1月になって来客数が前年比で101%、売上が105.6%になり、少し伸びてきている。
		スーパー（店 長）	単価の動き	・気温が低下することによって客の購買量が増え、客単価も上昇している。
		スーパー（販売 担当）	販売量の動き	・一品当たりの単価は低下しているものの、客1人当たりの購入量は増えているし、1回当たりの客単価も上昇してきている。特に食品はその傾向が顕著であることから、少しではあるが景気が回復してきている。
		コンビニ（エリ ア担当）	来客数の動き	・週末の天気が悪く客足が遠のき、土日の売上が減少している。今年の正月は天候に恵まれたが、前年よりも来客数、売上とも良くない。
		コンビニ（支店 長）	来客数の動き	・昨年と比べて来客数の増加が見られる。
		コンビニ（副地 域ブロック長）	販売量の動き	・今月に入り前年と比べて上振れの変化があり、主食系を軸として売上が改善している。
		その他小売 〔ショッピング センター〕（所 長）	来客数の動き	・一昨年12月上旬の大型ショッピングモール開店後、昨年11月までは来客数減少の状況が続いていたが、1年経過し12月、1月と来客数が回復してきている。
		高級レストラン （宴会サービス 担当）	来客数の動き	・平日夜の法人利用が増えている。
		一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・客の動きが活発になっている。
		その他飲食 〔サービスエリ ア内レストラ ン〕（店長）	来客数の動き	・高速道路の交通量が増え、サービスエリアに出入りする客も増えてきている。
		観光型ホテル （営業担当）	来客数の動き	・ふるさと旅行券の駆け込み需要で、来客数が増加している。
		都市型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・新年会の季節でもあり、来客数などが増えてきている。
		タクシー運転手	販売量の動き	・タクシー料金の値上分だけ売上は伸び、前年の105%である。
		通信会社（工事 担当）	お客様の様子	・客の様子から景気はやや良くなってきている。
		競艇場（職員）	販売量の動き	・1月初旬に開催した正月レース、中旬のレースで売上が確保できている。
		住宅販売会社 （従業員）	販売量の動き	・年明けから分譲宅地の問い合わせが多く、成約も順調に推移している。土地購入希望者が消費税率引上げ前の駆け込みを意識して行動を起こしている。
変わらない		商店街（代表 者）	来客数の動き	・12月は年末需要があったが、年始は来客数、販売額とも落ち込んでおり、観光客数も減少している。
		商店街（代表 者）	来客数の動き	・当商店街が位置する通りも他の地方都市の商店街と同様に、現状では回復傾向にはなく、来街者も減少気味で苦戦中である。近くの港に中国や韓国の観光客を乗せた大型船が着くが、大型店へ素通りしている状態である。

商店街（代表者）	来客数の動き	・アーケードがなくなり町並みがかかなりすっきりしたが、客はなかなか帰ってこない。近所に聞いてみても同じような回答である。
商店街（代表者）	お客様の様子	・買い控えをしている客は多いが、高額商品を購入する客もいる。
商店街（理事）	来客数の動き	・年末年始は暖かく冬物商品の動きが鈍かった。気温が急に低下したときは外出を控える人が多く、景気が悪いということではない。
一般小売店〔茶〕（経営者）	それ以外	・今月は当社にとっては端境期であるが、何とか前年を少し上回っている。内訳は国内が相変わらずマイナスで、海外輸出で補う形となっている。
百貨店（経理担当）	販売量の動き	・大寒波の影響もあり1月は前年売上をやや下回る見込みである。化粧品は好調であるが、婦人服が不調である。
百貨店（営業担当）	お客様の様子	・12月に続き1月も苦戦している。特に4週目の土日において寒波や雪の影響で大きく売上を落としている。その後も極端な気温低下による影響で、年配客の来店が少なく厳しい月末となっている。
百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・冬セールが本格スタートしたが、暖冬から一転して記録的寒波となるなど一気に冬型天候となり、価格も下がるなか、期待していたコート、ブーツなどの冬アイテムには、値下げ後も動きが見られない。婦人服中心に苦戦が継続しており、単なる価格値下げでは消費者の購買に結び付いてこない。
百貨店（購買担当）	お客様の様子	・12月は宝石や時計などの動きは良かったが、1月になり鈍ってきている。アパレル業界は早目にセールを仕掛けていたので、1月中旬まで動きは良かったが、月末の大雪の影響で客足が鈍くなっている。食料品については葉物野菜が高騰しており、売上は厳しい状況が続いている。
百貨店（売場担当）	お客様の様子	・今月は初売りこそ好調なスタートであったが、婦人服中心のセールの不振、初めて初売りからスタートした物産展の不振に加え、下旬の寒波や積雪でかつてないくらい厳しい状況にある。
百貨店（売場担当）	販売量の動き	・数十万円の美術品やじゅうたんは売れたが、100万円を超えるものは動かず、まだ先は見えない。
百貨店（売場担当）	お客様の様子	・年始、ギフト解体など食料品の買上は安定している。婦人服も冬物が大幅値下げになっており、セール商品の売上は前年並みで推移している。月末に寒波が到来し防寒雑貨も持ち直しつつある。
スーパー（店長）	販売量の動き	・客単価に変化はない。
スーパー（総務担当）	単価の動き	・売上、来客数とも横ばい状態である。
スーパー（管理担当）	来客数の動き	・天候が良かったこともあり、年末年始の客足は良く売上も前年を上回ったものの、それも一時的であり、全体的に来客数の停滞状況に変わりはない。
スーパー（業務開発担当）	来客数の動き	・来客数の減少はないが販売点数が減少している。商品の値上がりの影響で的を絞った買物になっている。
スーパー（財務担当）	単価の動き	・正月が明けてからの節約のため、1点単価の前年割れが続いている。
スーパー（販売担当）	単価の動き	・年明けは客の買い控えが予想されたが、1月の売上は前年を上回っている。
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・特に変化は見られない。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・パソコンの買換え需要の少なさ、テレビの単価低下、白物家電の伸び悩みといった状況であるとともに、家電量販店に行ってみようと思わせるヒット商品がないことで、売上や客足に影響が出ている。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・前年と比べて来客数に変化はない。
家電量販店（販売担当）	販売量の動き	・暖冬のせいで季節品が動かない。
乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・1月の販売状況は前年比90%と依然厳しい状況になっている。
その他専門店〔和菓子〕（経営者）	販売量の動き	・大きく変化する要素がない。
一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・今年は年末年始と好天に恵まれ、客の様子も消費意欲が高かったが、1月中旬以降は通常と変わらず推移している。

一般レストラン (店長)	お客様の様子	・一般の客は増えて来つつあるが、予約の客が減ってきており、トータルでは前年と同程度になっている。	
一般レストラン (外食事業担当)	来客数の動き	・来客数は前年の95%、客単価は100~105%で、3か月前と変化はない。1月下旬から西日本に寒波が押し寄せたので、月末に売上を大きく落としている。ナショナルチェーンの出店が地方にも相次ぎ、すみ分けの状態が続き、来客数が減少している。	
観光型ホテル (宿泊担当)	単価の動き	・売れる商品は安い単価が中心である。	
都市型ホテル (企画担当)	来客数の動き	・宿泊は相変わらず海外客が好調であるが、特に広島香港線の航空便が就航した影響により、香港からの客が大きく伸びている。しかしその一方でレストランは各店舗とも来客数が減少している。	
旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・好調な動きを示している感がある一方で、企業によってかなりの相違が生じており、このままだとかなりの格差が出てくるため、景気の減速が懸念される。	
タクシー運転手 通信会社(総務担当)	来客数の動き 販売量の動き	・前年度と比較して客の様子に変化がない。 ・引き続き放送や通信新規加入件数が好調である。	
通信会社(企画担当)	お客様の様子	・SIM、モバイル関連の販売の動きや関心度が底堅く、漸増の状況である。	
通信会社(広報担当)	販売量の動き	・現在商戦期も終え、全く商品が動かない時期に来ている。客も購買意欲がない様子である。	
テーマパーク (営業担当)	来客数の動き	・暖冬傾向で年初は人出が多かったが、後半の寒波で帳消しとなっている。	
テーマパーク (管理担当)	来客数の動き	・入館者数や商品販売高等に前年同月比で変動がない。	
ゴルフ場(営業担当)	それ以外	・景気は上向き傾向にあるが、天候が不安定で集客に影響がある。	
美容室(経営者)	それ以外	・駅前の商業施設に客が流れており、商店街の来客数が減少している。	
設計事務所(経営者)	お客様の様子	・冬場の影響で会社関係やイベントでの来場者数が伸びてこない。	
設計事務所(経営者)	競争相手の様子	・業界全体の受注額の低下が止まらない。職人の廃業と高齢化もますます進んでいる。	
設計事務所(経営者)	来客数の動き	・戸建て住宅の引き合いが少なくなったまま変わる様子が見られない。	
住宅販売会社 (営業担当)	お客様の様子	・新年の販売会の来場者数や来場者の様子から例年とあまり大きな変化は見られない。	
やや悪くなっている	商店街(代表者)	単価の動き	・暖冬の影響で売上は良くない。客の商品を選ぶ基準が厳しくなっており、バーゲンでも売上は伸びない。
	商店街(代表者)	お客様の様子	・正月三が日は人出も大変多くあり、売上も良かった模様である。しかしながら曜日の関係と株安の影響で、4日以降は売上を確保するのが厳しい状況である。また中旬より寒くなり重衣料の動きが多少良くなるが、今月の売上はやや悪い商店が多い。
	一般小売店 [靴](経営者)	販売量の動き	・新規の客が減少している。常連客であれば売上は安定するが、新規の客が少ないと売上は伸びない。
	一般小売店 [紙類](経営者)	お客様の様子	・観光客の動きは旺盛であるが、金を使わない傾向にあるため景気は悪い。
	百貨店(営業担当)	販売量の動き	・婦人服は厳しい状況である。1月初めは暖冬で冬物は動かず、月末は気温が下がったが、今さら冬物を購入する客も増えず、春物も動かず、前年売上を割っている。化粧品と食品は前年をクリアしている。
	家電量販店(店長)	販売量の動き	・テレビや白物家電の単価が上昇し、販売台数が減少している。
	家電量販店(企画担当)	販売量の動き	・来客数は前年比で大きな変化はないが、販売量が減っておりやや悪くなっている。
	乗用車販売店 (総務担当)	販売量の動き	・前年比で計画した想定値以上に販売数が落ち込んでいる。
	自動車備品販売店(経営者)	来客数の動き	・12月、1月とも暖冬で季節商材が前年比80%前後の推移である。やはり寒いときは寒く、暑いときは暑くなくならないと景気も悪くなる。
	その他専門店 [海産物](経営者)	来客数の動き	・年明けは天気が良かったので初詣等での来客数は多かったが、中盤からは低調になってきている。
	その他専門店 [布地](経営者)	お客様の様子	・正月明けで春物が動いたが、高額商品は売れない。地方にはアベノミクスの影響は及ばないし、消費税率引上げによる副作用の方が大きい。

		その他小売 [ショッピング センター] (運 営担当)	販売量の動き	・1月後半の気温低下により、冬物の商材も動き出し た感はあるものの、まだ一時的なものであり、12月や 1月前半の売上の減少をカバーできる状態ではない。 中国経済や株価の変動不安も継続しており、景気が良 くなる判断材料はない。
		スナック(経営 者)	来客数の動き	・12月は他の月に比べて少し良かったが、今月は来客 数が減少するとともに、売上単価が低下している。景 気が悪いせいか客も使用金額を低く抑えている。
		都市型ホテル (総支配人)	販売量の動き	・年始の仕事始めが4日からと早く苦戦した。またビ ジネス需要も動きが鈍く、販売室数では苦戦してい る。
		都市型ホテル (企画担当)	単価の動き	・年明けの株価下落の影響に加え閑散期での集客を心 配したが、全体的に宿泊客数に大きな落ち込みはな く、景況感は悪くはないが、宿泊やレストランの客単 価はほぼ前年並みで増収には至っていない。
		旅行代理店(営 業担当)	来客数の動き	・海外旅行をはじめまだ回復の兆しが見られない。
		通信会社(販売 企画担当)	それ以外	・総務省のタスクフォースによる携帯電話の料金や提 供条件に関する議論を受けて、携帯電話業界の販売に ブレーキがかかりそうである。
		テーマパーク (業務担当)	来客数の動き	・例年も来客数が少なくなる時期ではあるが、週末に 大雪なども続いて来園者が大きく減っている。
		美容室(経営 者)	単価の動き	・客は安いメニューしか選ばず、客単価が伸び悩んで おり、売上も伸びていない。
		設計事務所(経 営者)	お客様の様子	・新築住宅の着工件数が以前に比べて全体的に減っ てきている。
		住宅販売会社 (営業担当)	お客様の様子	・3か月前と比較して客からの問い合わせ件数が減少 している。年末年始の出費増により、今月は客の動向 が鈍っている。また今月に入って気温も下がり、休日 に外出を避ける客が増えている。
	悪く なっている	一般小売店[眼 鏡](経営者)	来客数の動き	・若い年齢層の来客数が減少している。
		自動車部品販売 店(経営者)	販売量の動き	・消費税8%の影響に加えて、暖冬のため季節商材の 動きが悪い。
		住関連専門店 (営業担当)	来客数の動き	・週末に降った大雪の影響で客が全く来ない日が続 いている。
		その他専門店 [時計](経営 者)	来客数の動き	・気候の影響もあるが来客数が極端に少ない月であ る。ニュースに出る賃上げは、一時金を含めて大手輸 出産業のごく一部のことであり、地方の零細企業には 全く考えられないことであるため、景気浮揚は考えら れない。
企業 動向 関連 (中国)	良くな っている	輸送用機械器具 製造業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・生産台数が多く忙しい。
	やや良 くなっている	農林水産業(従 業者)	それ以外	・12月と9月を比較すると、水揚げ数量は148tの増 加、水揚げ金額は623万円の増加である。増加理由は 沖合底引き網漁、大中型巻き網漁の増加である。
		繊維工業(経営 管理担当)	受注量や販売量 の動き	・ここ2か月の売上が前年の103%で推移している。
		不動産業(総務 担当)	それ以外	・来客数や成約件数が増加している。
	変わらない	食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量 の動き	・例年12月の歳暮シーズンが終わると売行きが低下す るが、期間限定の販売を行うなかで前年水準を確保で きつつある。
		食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量 の動き	・受注量の増減は見受けられない
		木材木製品製造 業(経理担当)	受注量や販売量 の動き	・前年比では増加しているが、3か月前比では大きな 変化が見られない。
		化学工業(総務 担当)	それ以外	・全般的には景気が好転したように見えるが、工事な どは受注があっても人手が足りないなどのねじれが起 こっているため、更に好景気に向かって進んでいく見 込みはない。
		窯業・土石製品 製造業(総務経 理担当)	それ以外	・仕事量は大口案件の製造着手により拡大し多忙な状 況であり、残業時間も増大している。人員補充策とし てハローワークで正社員募集するが応募者が現れな い。
		鉄鋼業(総務担 当)	取引先の様子	・前回から状況に変化はなく、各社最低限の仕事量を 確保すべく、市況に合わせて低採算で受注している状 況である。

	鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今期は予算より10%程度低く推移しており、今期の実績レベルがこの春以降も夏場まで継続しそうな状況である。自動車関連を中心に仕事量の戻りは夏場以降になりそうである。	
	金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が生産能力の約50%しかなく、厳しい状況になっている。	
	電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・商談件数が前年同月比でやや減少しているが、成約率はほぼ去年並みに推移している。アベノミクス効果も一段落する一方で、取引先は消費税率引上げ時の対策に舵を取っている。	
	輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・予定通りの受注量となっている。	
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・技術職の空きがない状態であり、引き続き手持ち工事で一杯の状況が続いている。	
	建設業（総務担当）	取引先の様子	・年初からの株安、原油安に加え、政治と金の問題で先行き不透明である。	
	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・電子商取引の取扱量が3～4年前の1.5倍になっている。外部環境や客の構成が変化しているなかで、第一線ドライバーの負担が増え、労務コストに反映されているので、個数は伸びているものの、収支は苦しい状況である。	
	輸送業（総務担当）	取引先の様子	・荷動きがあまり変わらない。	
	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・株価の暴落などの地域経済への影響はまだないが、先行きは不透明である。	
	金融業（融資企画担当）	取引先の様子	・地元の自動車メーカーの生産と販売は引き続き好調である。部品メーカーも高水準の受注に対応するため、毎月2回程度の休日出勤と残業で対応している。	
	金融業（貸付担当）	取引先の様子	・取引先の様子から、身のまわりの景気は変わらない。取引先の製造業では、12月売上高の速報ベースで前年と同水準を確保するのが大変だった模様であり、円安に伴う仕入価格の高止まりから、収支は改善していない状況である。年末の歳暮商戦では、採算確保すべく販売価格を値上げしたいところであるが、一定の売上を確保するために価格を据え置いている。	
やや悪くなっている	輸送業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・貨物数量が大きく増加してこないなか、料金交渉においては燃油費の下落を根拠として値下げ要請が出てきている。燃油費高騰時に値上げに応じてもらえないなか、数量が増加しない限り厳しい状況になっている。	
	通信業（営業企画担当）	取引先の様子	・流通系や製造系の客から、来年度の予算計画に伴う情報通信コストの削減に関する相談が増えている。	
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・客からの受注量が減少傾向にあり、販売促進が進まない状況である。	
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・売上高、利益ともに前年同月を下回っているところが多い。人手不足が続いている状態に変わりはないが、売上好調で忙しいからではなく、受注をこなすのに手一杯の状態なので、人手が足りなくなってきた。	
悪くなっている	化学工業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・中国経済の低迷と合わせて原油産油国の国政の影響により供給がコントロールできない状況にあり、供給過剰による原油価格の下落が止まらず、石油由来の当社製品も価格引き下げで対応せざるを得ない。また競合他社との価格競争も激しくなっている。	
	その他製造業[スポーツ用品]（総務担当）	受注量や販売量の動き	・国内受注が大幅に減少している。	
雇用関連	良くなっている			
(中国)	やや良くなっている	人材派遣会社（支店長）	求職者数の動き	・年明けから求職者の動きが活発となり、マッチング件数が増えている。また、在職中の人からも4月には転職したいなどの相談があり、今後もこの動きは続きそうである。
		学校[短期大学]（学生支援担当）	求人数の動き	・学生の就職はほぼ決まってきたが、求人がやや増えてきている。良い求人があっても出せる学生がいなのが残念である。

変わらない	人材派遣会社 (支社長)	周辺企業の様子	・引き続き求人数は高い水準で推移しているが、求人の要因で多数を占めるのが、繁忙対応という理由ではなく、欠員に対しての採用ができないというものである。求人する企業の景気が良いという話は限定的である。
	人材派遣会社 (経営企画担当)	求職者数の動き	・特に大きな動きは見られないが、登録者数は前年よりも回復してきている。内訳として昨年度大型商業施設オープンに沸いた小売関係が今年度は鈍化している。一方、医療関係については増加傾向にある。
	求人情報誌製作 会社(広告担当)	採用者数の動き	・新卒採用については、2017年採用の採用者数は、ほぼ終了した2016年採用と変わらないが、若干増やす企業が多い。特に理系採用はますます需要が高い。採用難であった介護福祉系、建設業、サービス業、流通業は慢性的な人手不足のため、増やす傾向にある。中途採用については、求人数は増加傾向だが求職者数は伸び悩んでいるため企業側のニーズは高い。特に自社に合った人材を効率的に採用できる人材紹介を活用する企業が増えている。
	新聞社[求人広告] (担当者)	求人数の動き	・企業の求人が、昨春秋以降高い水準を維持している。年末から年始にかけて開催された合同企業説明会に参加する学生の意識も、ここ数年になく楽観的になっている。
	新聞社[求人広告] (担当者)	雇用形態の様子	・今春の高校新卒者の採用が極めて厳しいと地場中堅の港湾関係企業が嘆いている。景気の上向きを示しているが、中小企業の従業員確保に向けての対応は深刻である。
	職業安定所(所長)	求人数の動き	・新規求人は食肉加工、プラスチック成形、金型製作など幅広い職種で増員のあった製造業が前年同月比で7割増となったほか、市町村から来年度の臨時職員の大量募集があったため、求人全体でも1割増の増加となっている。
	職業安定所(産業雇用情報担当)	求職者数の動き	・新規求職者数は3か月前と比べて31.5%減少しているが、自己都合離職者の減少によるもので、景気が影響しているわけではない。
	職業安定所(雇用開発担当)	求人数の動き	・新規求人は前年比で若干減少傾向にあるものの、高い水準で推移している。求職者数は減少が続いていることから、有効求人倍率は高水準を維持している。
	民間職業紹介機関(職員)	雇用形態の様子	・当初短期的な穴埋めを目的とした非正規採用での人材斡旋依頼を受けているが、求める要求も低くなく、そもそも転職市場に多く存在する人材像ではないことから、将来期待される役割も鑑みて、最初から正社員求人として受理をしている。
民間職業紹介機関(人材紹介担当)	周辺企業の様子	・求人数、求職者数とも目立った変化はない。	
やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-